

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第1回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和7年4月23日(水) 午後1時～3時
開催場所	市役所 中会議室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、蘆田圭、上井千里
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 遠藤一博 教育創造部長 足立英則 学校教育課学校教育担当主幹 兼 教育研究室長 山田恵子 幼保連携課長 上田歌織 幼児教育センター長 橋本恭代 幼保連携課（幼児教育センター）小林木綿子 幼保連携課（幼児教育センター）西村麻衣子 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 令和6年度就学前教育推進事業報告について (2) 令和7年度就学前教育推進事業計画について (3) その他
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開会 蘆田委員、上井委員委嘱状交付 蘆田委員、上井委員挨拶 事務局 山田室長、上田課長挨拶
教育長	2 あいさつ
事務局	(資料確認)

<p>委員長</p>	<p>ここからの進行は、委員長にお願いする。</p> <p>3 令和6年度就学前教育推進事業報告については会議次第に従い議事に入る。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和6年度報告書について 事前に全園の報告書を委員の皆様へ配布し、内容確認・承認を得ることができており、委員会の報告書として、3月末日までに各園にデータを送付し、ホームページにアップ済みである。</p> <p>保護者アンケートについては、今年度からformsを使い、幼児教育センターが一括して回収できるようにした。このアンケートは例年通り記名あり。概ね良好な意見だが、保護者からの要望、苦情、課題点などの指摘もあった。回収率に関しては、前年度と比べて今年度は下がっている。回収率低下の理由は不明だが、QRコードを読んでアンケートに答えることに慣れていない方が多かったためかと園長から聞いている。回収率が下がった園の中では紙面での回収に戻すか検討されている。</p> <p>各園のアンケート結果からご意見をお聞かせいただければと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>検討課題は大きく2点で、1つはアンケートの回収率についてどう考えるか。もう1つは、各園のアンケート結果を見て、どう受けとめれば良いのか。また、今後アンケートについてご意見を賜りたい。</p>
<p>委員</p>	<p>紙面にすると、保護者は家に持ち帰り机の上に置いておくなど、常に目に入ることが多い環境になることで、回答された方が多かったのかもしれない。どちらが良いか。集計はFormsの方がしやすいと思う。紙を用意された園もあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>使われなかったようだが、選べるように紙も用意はされていた。</p>
<p>委員</p>	<p>紙面アンケート用紙が目の前にあると、回答されることが多いので、紙面アンケートを配布し、Formsでも回答ができるようにすると良いのではと思う。紙に書かれる方は、書いた紙を提出。Formsの方は何も書いていない紙を提出するという方法はどうか。内容は見られないが、回答したかどうか園も把握はできる。</p>

委員	<p>今までの回収率がとても高いと思っていた。今回は前年度と比べて低く思えるが、「何も書かれていない」というのは、何も意見がないということではなく、特に伝えることがないので、回答しなくても良いと思われたのではないかと思う。</p> <p>回答の内容を見ると、今回のアンケートでは、些細な要望が書きやすくなったと思う。紙を園に提出すると先生方が目を通されるので、遠慮して書いていたことが、些細な要望も遠慮なく書けるようになり良かったと思う。</p>
委員	<p>効果的な回収率の上げ方はわからないが、回答されていない方は、ある程度満足されている部分もあると思う。自由記述の内容が、「ほほえましい」「園での様子がわかる」等良いことを保護者が書かれている。保護者が望まれていることは、「伝わっているかどうか」ということがキーワードだと思った。「園での様子が知りたい。伝えて欲しい。もっと見えるようになったらいいな」ということが、願いとして書かれていると感じた。</p>
委員	<p>「コメントがないのはすべてが良いこと」と英語で書かれたコメントがあった。何も書かれないのは無関心なのか満足なのかということも気になるが、言いたいことがある方は書かれている。タブレットやスマホで記入になると、相手が見えにくくなるので鋭く書かれる方もあるが、そのコメントも真摯に受けとめる必要があると思いつながりを見せていただいた。</p>
委員長	<p>アンケートの回収率を上げる目的についての確認が必要かと思う。令和5年度までは各園で回収され、センターでまとめたものを最終的に各園にフィードバックをしていた。そのため、保護者の思いや意見をできる限り知りたい。そのために回収率を上げたいということが令和5年度までであった。</p> <p>令和6年度はFormsに変わり、各園の負担は減ったと思う。また、保護者にとって市職員がアンケートを見た後、各園にフィードバックするという考え、アンケートを書かれているところもあるかと思う。</p> <p>回収率を上げるならば、各園が従来のやり方に戻し、回収してもらう方法を一緒に考え、コーディネートする必要があると思う。</p> <p>もう一つ、各園の自由記述を見ていくと、昨年度までより「もっ</p>

	<p>とこうしてほしい」というような要望が増えた。それは各園回収ではなく市全体で回収するということで、保護者も書きやすくなったと思う。</p> <p>保護者のニーズや保護者が感じている課題を探りたいから市として全体の情報を取りまとめて集約するというのであれば、今回の方法は成功だと思う。アンケートは何のためにとるのか、今年度のアンケートを取るときに、元の方法に戻すのか、それとも今回の方法をもう1年試してみるのかを考えていく必要があると思う。</p> <p>自由記述の内容は、概ねどの園も肯定的な温かい意見が書いてあるが、その一方で辛辣な意見もある。市として幼児教育センターとして、どのようにそこにアプローチ・助言をしていくのかということを考えていかなければならないと思う。</p> <p>園小接続に関しては、園での取組を中心に保護者は書かれているが、園の中でできることと、園の中ではできないことが含まれていると思ったので、意見を集約・整理し、西脇市としての園小接続に対する考えを情報発信すること。園の責任で行うべきことと、幼児教育センターとして行うべきこととを仕分けていく必要があると思った。他に何かご意見等はあるか。</p>
委員	<p>アンケートの項目に園小接続期のことがあったので、認知はされたと思う。結構関心を持たれているようなので、市として「こんなことを取り組んでいる」ということを、発信していく必要があると思った。</p>
委員	<p>保護者アンケートの中に「ドキュメンテーション」などの、専門用語が出てきていて驚いた。そのアンケートを書かれた方は、キャッチする力がある方だと思うが、先生方が日々の保育の中で、情報発信をされているからこそ保護者も保育の専門用語がアンケートの中に出てくるのではと感じ、良い意味で驚きがあった。</p>
委員	<p>保護者アンケートの中に言葉遣いのことについても触れてあり、この内容についても園小の接続をしていかないといけないと思った。</p>
事務局	<p>補足だが、保護者アンケートは毎年1月頃に行っている。昨年度は、園小接続に関して情報発信に力を入れていた。1月までは、テ</p>

<p>委員長</p>	<p>レビの「ニュースおかえり」や神戸新聞等に取り上げていただいた。市民が一番目にする市広報には、3月号で4ページの特集を組み出すことができた。今後も発信していくことで保護者が安心していただけるような環境にしていきたいと思う。</p> <p>園小の取組を就学前や小学校の保護者に御理解いただき、御協力いただけるように、センターとして発信方法を考えていきたいと思っている。</p> <p>資料1、2について事務局お願いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1「令和5年度保護者アンケート」 ・資料2「コパイロットアンケート集計」 <p>本年度の公表方法についてご意見をお伺いしたいのが、テキストマイニングについて。テキストマイニングを使うと、毎年同じような言葉が上がってくるため、本年度はコパイロットにアンケート集計を変えてみてはどうかと考えている。委員の皆様からご意見をお伺いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>この形で情報を整理していくとどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>了承</p>
<p>委員長</p>	<p>どの程度の細かさと分かりやすさで載せるか。例えばアンケート集計について、各園で年齢ごとに集める等、細かい方が個人的には良いと思うが、細かく分けて書きすぎると保護者や一般の方々が見たときに情報量が多すぎるとも思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>年齢の分け方について、今伺った乳幼児（0～2歳児）と幼児（3～5歳児）で分けるのも良いと思った。</p>
<p>委員</p>	<p>分けるのも良いと思う。区分の仕方は、0歳児と1歳児を分けてしまうと、ややこしくなるかもしれない。0～2歳児、3～5歳児で分けると、2歳児と3歳児の方が近いかもしれないと思うので、0,1歳児、2,3歳児、4,5歳児で分けても良いと思った。未満児とそれ以上で分けることが多いが、感覚としては2,3歳児の方</p>

委員	<p>が近いかもしれない。</p> <p>年齢別で分けるのはとても良いと思う。ただ記述式のアンケート部分が年齢別集計でないので、そこでの整合性がどうなるのかが気になったところだ。全ての項目を年齢別に分けるかどうか懸念材料かと思う。</p>
委員	<p>確かに年齢別は分かりやすいかなという印象は受けた。また、先ほどのコパイロットで分析される方が読みやすいと思った。身近なエピソードに触れられる部分がある。保護者にとって、読みやすい文面の方が伝わりやすいのかと思った。</p>
委員	<p>字が多いと読まない方もおられるので、配慮もいる。就学前の接続がとても大事だと思うので、年齢ごとに分ける場合は、5歳児は別が良いかと思う。</p>
委員長	<p>何かもう少し確認したいことはあるか。</p>
事務局	<p>コパイロットに聞く内容は、どのようなものが分かりやすいかというところまでは話を詰められていない。入れておいた方が良いことはあるか。</p>
委員長	<p>保護者との交流という視点で、保護者とうまく意見交換、情報交換ができていくかということは、1項目あった方が良いと思う。園からの情報発信が多くの方々に伝わっていることが読み取れないようなことがあると保護者の安心感につながるのではないかと思う。</p> <p>またご検討いただければと思う。</p> <p>4 令和7年度就学前教育推進事業計画について 事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4 「スケジュール詳細」 ・資料5 「6年度視察訪問資料（案）」 ・資料6 「視察訪問質問（特別支援）（案）」

事務局	<p>資料5は、視察訪問の日程、時間帯、訪問委員の氏名、事務局の参加者を記載している。</p> <p>続いて資料6、視察訪問の資料について。変更点は「組」「担任」欄を入れている。</p> <p>西脇市の共通カリキュラムについて、昨年度に一部追加、変更したところがある。</p> <p>0歳児については5領域ではなく、3つの領域で分けた。それに合わせて、1歳児から5歳児は、5領域の順番について、言葉を4番目に入れた。内容に変更はない。2から9についても変更点はない。</p> <p>最後は資料7になる。加配は何対1でついているのか書いていただこうと思っている。</p> <p>また、進学先を分かる範囲で書いていただくよう変更した。</p> <p>資料3～7についてご意見・質問はあるか。 委員の皆様方いかがか。大丈夫か。</p> <p>了</p> <p>確認した。これで良いと思う。よろしく願います。</p> <p>5 その他 事務局からの説明をお願いします。</p> <p>令和8年度以降の視察訪問の方法について昨年度第3回委員会で委員の皆様アイデアをいただきたい旨、お話をさせていただいていた。自己評価表や視察訪問の仕方について、園長会の方でも「これからは今まで同様にしていくのか」というようなご意見がある。確かに視察訪問も今年で7年目を迎え、委員の先生方からの熱心なご指導のおかげで、こども園の先生方も「就学前教育」というものを意識してやってくださっている。最初にこの委員会を立ち上げた時の計画として「10年間は実施する」ということで、「10年でやめましょう」という意味ではなかったと思う。ただ視察訪問は「10年を目安に」となっていたので、8年度以降の3年間をどうすべきか考えている。「勉強になるが、自己評価表などの作成が苦手な先生もいる。視察訪問に来てもらって良かった、また来てほしいと思える</p>
-----	--

	<p>ような方法はないか」と聞かれ、「しんどいことの中から学ぶところもある。書くこともすごく大事なことです」とは伝えている。その話の際に「どの園もドキュメンテーションを作っているので、委員の先生方の来園時に、ドキュメンテーションを説明することで、自己評価表の代わりにならないか」と言われた園長先生があった。遊びの経緯などはドキュメンテーションでよく分かると思ったのと、説明してもらおうとなると、先生方が保育・教育の意味を理解しておかないと人に説明することはきかないので、それも勉強になるかなと思った。</p> <p>自己評価表の書き方や今後の視察訪問の仕方について答えに辿りつかないままであるが、先生方にご意見を伺いたい。</p> <p>併せて公開保育についても、これも絶対必要だと伝えている。園長会でも「公開保育は大事な学びの場になり、人の保育を見る機会にもなる。こういう機会がないとなかなか人の保育を見ることができない。」と伝えたら、「公開保育は良いと思う。良いと思うが準備が大変だ」と言われた。しかし現場の先生方は、勉強になったと言われる。公開保育は、現在1園に年間2回実施していただいている。それを1年に2園が1回ずつ実施し4年に1回ずつ公開してはどうか等、期間のことも考えている。主幹保育教諭にその話をすると、「8年間空くのは長い。4年に1回回ってきてても良いと思う」と言われ、園長先生が驚いておられた。現場の先生方は自分達の勉強になったと思ってくださり否定的ではないので、その思いを大事にしながら、継続できるような良いアイデアをお願いしたい。</p>
委員長	<p>改めて確認。今日のこの委員会での話は、現段階で何かを決めるということではなく、いろいろな意見を出してもらおうということでよろしいか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>他市の認定こども園等の評価も年数が経過し、項目は削り絞った。それと同時にテーマを毎回考え、今年は「危機管理」今年「ドキュメンテーション」と変えていった。先程案が出た「ドキュメンテーションを使って」というのが、良いかもしれない。ただドキュメンテーションに説明が必要なので、その説明は書いてほしい。「こんなポイントでやってみたがこれで良いか」や、「ねらいを</p>

委員	<p>こうしてみたが…」等、書いてもらえると良いと思う。</p> <p>公開保育が8年に1回は空く期間が長い。主幹の先生方がそう言うてくださるのは嬉しいので、是非その方向で進められれば良い。</p> <p>視察訪問に伺った際、〇〇ごっこ等、遊びを作り上げている最中やほぼ完成という状態を見せていただくことが多い。先生方は視察訪問のために、委員が見るところがピークになるように頑張ってこられているのではないかと思う。作り込まなくても普段の保育が見たいというのが正直なところ。資料をドキュメンテーションに替えて良い。</p> <p>他市では、園だよりや、入園のしおり、給食だより等、すでに保護者に発行しているものと質問事項を各先生から提出いただき訪問した時にお答えするスタイルなので、今困っているポイントを教えてもらい、その困り感が見られる保育の時間帯に参観させていただいている。先生方もそこに向けて頑張らないといけない保育はしんどいと思うので、ドキュメンテーションと質問事項、園だより等、すでに発行しているものを事前にお送りいただくのも良いのではと思った。</p>
委員	<p>昨年度のこの委員会の議事録を読ませてもらった際、こども園の先生方が随分力をつけてこられたという意見があった。特別支援担当の立場から言うと、一緒に巡回し、園長先生からもご説明いただきながら実際に子どもの様子を見せていただくことはとても有り難いと思う。もし回数が減るのであれば、北はりま特別支援学校の訪問相談のような形でつないでもらっても良い。</p> <p>テーマをもって訪問するのは確かに良いと思った。どこに焦点を当て見たら良いかということも分かる。</p> <p>公開保育もとても良いと思う。人の実践を見せてもらうとともに、そういう場で横のつながりができたら良い。</p>
委員	<p>公開保育が8年に1回というのは大変なのでもう少し気軽に普段のところを見てもらうという意味で4年に1回公開し、準備をしっかりしないといけない公開保育は8年に1回回ってくるようにしたらどうか。気軽にできるものが小刻みにあると良いと思った。</p>
委員長	<p>改めてこの委員会の目指すところが何かと考えた時に、委員会の</p>

委員	<p>名称にあるように「教育・保育の質の向上」であろう。各保育施設が、教育・保育の質の向上を目指していく、それを「どうサポートしていけば良いのか」ということが一番の大きな目指すところだと思う。自己評価を積み重ね、時が経つ中で自分たちの保育の内容を自己点検していくことが馴染んできたと思う。質の向上のために次大事なことは、各園が自分たちの保育を振り返り、次どうしていくかを考える力をつけていただくこと。そのサイクルを回す手伝いをするのが大事であり、手法としては先ほどのドキュメンテーション等を使うことも良いのではないかと思う。</p> <p>また、テーマを設けるということについては、「市内共通テーマ」で考えることで知恵が結集してくるというところもある。もう一方で各園が「今年度ここを頑張る」ということをテーマにし、意識しながらやっていくのも1つの方法だろうと思う。公開保育をうまく組み合わせることが可能なら先生方の負担感も減るのかなと思う。今はキャリアアップ研修と絡み合っているのでしっかり準備する枠組みになっているが、もっと素朴に、例えば各園で保護者参観日や保護者参観週間のようなものがあると思うが、その時に他園を見に行く、お互いに行き来する、というようなことができる、もう少し気楽に保育を公開できるのかなと思う。5～10人程度の先生が保護者に混じって保育を見せていただく。各園でそれを持ち回りでやるのか、全園が「この週間が公開保育兼保護者参観日です」というようにしてもらうかは分からないが、工夫されたら良いと思う。</p> <p>視察訪問についてももうひとつ、違う切り口で考えると「毎年必要か」ということ。本当は毎年実施していくことが必要だが、その視察訪問を2年に1回という形でやっていくとう案もある。基本的に目指していかないといけないのは、「各園が自分たちで自立してやっていく力をどうつけていくのか。」ということ。各園が自助努力でやっていくことができるのかどうか、そのことを見据えた上で、これからできそうなことは一体何かということも考えていく必要がある。現在、各園が自己評価のサイクルの回し方が少しずつ分かってきたと思う。ではそこから自分たちのツールとして何を言い、サイクルをどう回していくのかというところが、考えていくポイントかと思う。</p> <p>他にご意見等、いかがか。</p> <p>各子ども園が自立して動く組織になっておいてほしいのは確かに</p>
----	---

委員	<p>そう。自己評価のサイクルの回し方をこちらで考えるのではなく自分たちで考えてもらうのは有効かもしれない。自立的な組織を作るという面で大事かもしれない。</p> <p>例えば今は、1日で15時、16時まで見せていただいているが、半日にして、8園を2回訪問もしくは年間1回良いタイミングで見せていただくというのも良いかと思う。</p>
委員	<p>公開保育だが、先生方がおっしゃったように、オープンスクール的に「皆さん来てもらったらいいですよ」と、お互いに公開できたら横の学びもできて良いと思った。</p>
委員長	<p>今いろいろご意見が出ましたが、再度事務局の方で何か思いついたことや補足があればお願いしたい。</p>
事務局	<p>公開保育については、公開園はすごく力を入れて頑張っているのので、どの園も1人は必ず見に行っていたきたいと思う。公開保育をする年は、園から「指導案を見てください。」と、月週案、日案が届く。とても労力があるが、その時に一対一で話をする。時間もかかるが、大事な時間だと思っている。みなさん他園の先生が見に来てくれるからと一生懸命されているので、是非1園に1人以上は見に行っていきたいという願いがある。短いスパンで気軽に見てもらうことに慣れながら、人の意見を聞いてほしいと思う。もう少し負担を軽くし短いスパンで公開できたら、とセンター職員で話している。</p> <p>また自己評価（視察訪問）と公開保育という2つの項目だけではない研修体制等も含めて考えていかないといけないと思う。例えば公立の学校であれば初任者研修が制度としてある。しかし民間園の保育教諭等の方はそういう仕組みがない。初任者研修に代わるようなものをサポートしていかないといけないと思う。実際、視察訪問の初期段階で多かった質問は、初任者研修で伝えるようなレベルの内容が多かったと思う。そう考えた時に、初任者研修として視察訪問がもつ役割もあると思う。</p>
委員長	<p>以上で議題が全て終了した。みなさんの円滑な運営の協力に感謝する。進行を事務局にお返しする。</p>

事務局	<p>6 次回開催予定</p> <p>次回の委員会は、令和7年8月26日（火）午前10時から大会議室で予定している。内容については、前期の視察訪問を踏まえて、各園の取組状況等について協議をいただきたいと考えている。</p> <p>閉会の前に教育創造部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>あいさつ</p> <p>7 閉会</p> <p>以上をもって、本日の会議を終了する。</p>
-----	--